

平成23年度 事業報告

総括報告

平成23年度は、前年度末におきた東日本大震災の影響が大きく残り、年度当初の観光イベントにおいては開催中止や内容変更を余儀なくされるなど、大きな影響を受けた一年であった。そのような中、年度末には近年の懸案事項であった旧（社）さいたま観光コンベンションビューローと、旧（財）さいたま市国際交流協会の統合により、（社）さいたま観光国際協会として平成24年3月1日に新たなスタートとなった。

新規事業としては国内では初めてとなるスポーツ大会等誘致による地域振興を目的とした「さいたまスポーツコミッション」を立ち上げ、協会内に新たにスポーツコミッション事業を設置。

また、大宮盆栽の海外展開を目指す、「大宮盆栽 J A P A N ブランド化事業」が中小企業庁に採択され、戦略策定を立案。欧州大会をはじめ世界の盆栽関係者に大宮盆栽を P R した。さらに急速な広まりを見せているスマートフォン向けアプリ「つい、盆栽。」の企画開発に協力し、海外でも多くダウンロードされるなど好評を博した。

観光イベント事業については、それぞれの特色を生かした各種イベントを開催。一部中止や内容変更はあったが、成功裡に開催することができ、ビューローが関連したイベントでは、入れ込み合計が 190 万人に達した。

コンベンション事業においては、誘致営業活動を強化するとともに、誘致実績も着実に推移しており、さらに県・市・関係団体と一体となった誘致体制の充実をはかっている。国際会議観光都市として、今後さらに各種会議の誘致に向け積極的な営業活動を推進している状況である。例年実施しているコンベンション経済波及効果調査でも、22年度の経済波及効果額は約87.6億円となり、コンベンション事業の推進が益々重要性を帯びてきている。

広報宣伝事業では、観光情報誌の発行回数を増加させ、より充実した情報発信に努めた。

国際交流事業は、市民ボランティアによって構成された委員会を中心に、市民主体で実施、地域のボランティアとの協力関係のもとに各事業を実施した。

観光案内所の運営においては、J R 東日本と共同で運営する大宮駅観光案内所を始め、さいたま新都心駅、浦和駅前の3カ所の案内所において観光案内・情報提供をはじめ様々なサービスを提供し、年間利用件数は約32万件であった。

事業別報告

i 観光事業

(1) 観光振興事業

地域観光行事への助成、支援

- ・各種イベント、地域観光振興事業の協賛後援事業（大盆栽まつり・さいたま太鼓エキスパート・大歳の市（十二日まち）・大正時代まつり・与野七福神めぐり・大宮日進七夕まつり・うなぎまつり・コラボさいたま、岩槻まつり他）
- ・友好都市との交流事業への協力

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

- ・埼玉県物産観光展への出展
埼玉 B 級ご当地グルメ王決定戦と同時開催された「埼玉県物産観光展」に 5 月 1 日（日）（会場：埼玉スタジアム 2002）と、11 月 26 日（日）（会場：北本総合公園）にそれぞれ出展した。
- ・さいたま市 PR ブースの出展等
bj リーグ（オールスターゲーム含む）1/14、15、28、29、2/19
UFC JAPAN 2/26
さいたまシティマラソン 3/10、11
さいたま市・川越市・鉄道三社合同キャンペーン 3/23（池袋）
さいたま市・川越市合同キャンペーン 3/29（川越）
- ・埼玉県観光交流会「埼玉トラベルマート 2012」への参加
都道府県会館で開催された、「埼玉県観光交流会」に 2 月 16 日（木）に参加し、旅行会社、旅行情報・出版社へ旅行商品化のための商談や情報提供を行い、さいたま市への誘客に努めた。

観光ボランティア団体との連携

- ・さいたま市の魅力を案内する「岩槻観光ボランティアガイド会」「観光ボランティア浦和ガイド会」の利用促進と希望者からの受入窓口を行った。また、「大宮観光ボランティアガイド会」設立に向け、ボランティアガイドの育成のための講話を行う等、発足への協力を行った。

花の名所の維持管理

(2) 観光物産振興事業

推奨土産品の広報及び販売経路の拡充

イトーヨーカ堂大宮店さいたま市フェアへの紹介販売。4/27～5/8、10/5～10

(3) 観光イベント事業

行事名	期 日	場 所	入込／参加人数
岩槻城址公園桜まつり	4/2・3	岩槻城址公園	中止
さくら草まつり	4/16・17	市役所・桜草公園	中止

ばらまつり	5 / 2 1 ・ 2 2	与野公園	入込120,000人
大宮薪能	5 / 2 8 ・ 2 9	市民会館おおみや	鑑能者 1,443 人
氷川神社の茅の輪くぐりと植木草花市	6 / 3 0	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込10,000人
人形のまち岩槻「朝顔市」	7 / 3	岩槻愛宕神社	入込5,000人
与野夏祭り	7 / 1 6 ・ 1 7	与野本町通り周辺	自粛
大宮夏まつり「中山道みやばらまつり」	7 / 1 7	宮原駅東口周辺	入込 45,000 人
浦和まつり（音楽パレード・浦和おどり・ウラワミュージックフェスタ・みこしパレード・南浦和会場）	音楽・おどり・ミュージックフェスタ 7 / 1 7 みこし 7 / 2 4 南浦和 7 / 2 4	浦和駅周辺 浦和駅周辺 南浦和駅東口西口	音楽入込 40,000 人 おどり入込（ミュージックフェスタ含む）100,000 人 みこし入込 110,000 人 南浦和入込 55,000 人
さいたま市花火大会 大和田公園会場	7 / 3 0	大和田公園周辺	入込110,000人
大宮夏まつり「西口夏まつり」	7 / 3 1	大宮駅西口周辺	入込25,000人
大宮夏まつり「スパークカーニバル」	8 / 1	大宮駅西口周辺	入込230,000人
大宮夏まつり「中山道まつり」	8 / 1 ・ 2	大宮駅東口周辺	入込260,000人
大宮夏まつり「東大宮サマーフェスティバル」	8 / 5 ・ 6	東大宮中央公園	入込30,000人
大宮夏まつり「大宮日進七夕まつり」	8 / 6 ・ 7	日進駅前通り周辺	入込151,000人
さいたま市花火大会 東浦和 大間木会場	8 / 1 4	東浦和 大間木公園周辺	入込90,000人
さいたま市花火大会 岩槻文化公園会場	8 / 2 0	岩槻文化公園	入込60,000人
人形のまち 岩槻まつり	8 / 2 1	岩槻区役所・岩槻駅東口周辺	入込 120,000 人
大宮夏まつり「指扇まつり」	8 / 2 7	滝沼川遊水地	入込10,000人
クリーンさいたま釣りの祭典	1 0 / 1 6	びん沼川周辺	参加169件
十日市	1 2 / 1 0	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込 200,000 人
十二日まち	1 2 / 1 2	調神社とその周辺	入込130,000人
合 計		入込計 1,902,443人	

(4) 観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

地域観光情報の基礎データベースの整理、観光資源の調査

さいたま市観光振興ビジョン及びしあわせ倍增プラン2009実現に向けた協力

(5) 事務局受託事業

ばらまつり、大宮夏まつり（前夜祭・西口夏まつり・スパークカーニバル・中山道まつり）、さいたま市花火大会

ii コンベンション事業

(1) 誘致・支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動

「国際会議観光都市」として、J N T Oなどからの国際会議情報や、各主催者団体のホームページ、その他情報類によりコンベンション開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性がより高い団体に対して、県内キーマンや団体本部を中心に誘致セールスを行い、キーマンとのパイプも着実に増強されてきている。

来客者に対する主要駅への歓迎看板の掲出

J R大宮駅の歓迎看板を活用し、また、浦和駅では歓迎幟旗を掲出、本市来訪への歓迎の意を表し、コンベンション参加者への案内に役立たせることができたとともに、市民へホスピタリティ啓発のアピールを行った。

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

観光マップを47件約24,800部（昨年58件48,550部）、コンベンションビニールバッグを29件29,390部（昨年30件約8,610部）、不織布バッグを4件約7,600部提供し、本市開催のメリットをアピールした。

コンベンション開催助成金

さいたま市における更なるコンベンション誘致及び開催の推進を図るため、コンベンション開催助成金制度を立ち上げ、11件約560万円を助成した。但し、年度当初は13件約700万円の助成予定であったが、東日本大震災による開催中止が2件と、助成辞退が3件あり、追加申請により新たに3件を助成した。）

コンベンション開催準備資金貸付制度の実施

他の支援事業と併せ本制度の周知を図り、本市開催の誘致活動を行ったが、貸付を希望するコンベンションはなかった。

インターネットによるコンベンション情報の発信

支援メニューの充実等を図るとともに案内をわかりやすくし、コンベンション主催者の利便性を高めた。

コンベンション開催時における推奨土産品販売所の出店

当ビューロー直接の臨時観光案内所設置は行なわなかったが、コンベンション会場への埼玉県物産観光協会による土産品販売所の設置や土産品のPRを行った。

産業観光、アトラクション情報等の提供及びシステムの拡充

アフターコンベンションのニーズに応えられるよう、特に産業観光施設の拡充を

図ることができた。

推奨コンベンション弁当の周知

セールスパンフレット・HPや施設見学会等で主催者に周知を図っている。

会場・観光地等の写真貸出システムの拡充

コンベンション主催者が宣伝周知用に作成するポスター等への活用を促進した。

埼玉大学との協力体制

同大学研究協力部との関係を強化し、コンベンションについての協力体制や、同大学留学生の人的資源活用等を図れるよう24年度からの具体的活動を視野に交渉を行った。

その他コンサルティング

(2) I ME 出展事業

国際ミーティングエキスポ「I ME 2 0 1 1」への出展

12月14日(水)～15日(木)、国際フォーラムにおいて、国土交通省、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)、及び日本政府観光局(JNTO)主催の「第21回国際ミーティングエキスポ(I ME 2 0 1 1)」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場した主催者18名に対し、本市への開催誘致を図った。(全来場者数2,716名---但し、出展関係者を除く)

(3) 施設見学会事業

コンベンション施設見学会(年1回)の開催

・コンベンション施設見学会の開催

2月27日(月)、I ME 2 0 1 1におけるさいたまブース来場者へのフォローアップ及び新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェンツ等を対象とした市内施設見学会(大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮、盆栽美術館、ラフレさいたま、ブリランテ武蔵野)を開催し、24団体40名の参加があった。その後、参加団体については通常セールス活動でフォローすることとしている。

・コンベンション施設内覧会への協力

9月20日(火)、財団法人埼玉県産業文化センター主催の「大宮ソニックシティ施設内覧会」へ職員を派遣し、支援内容の説明、観光スポットの案内等を行った。

(4) 情報収集事業

コンベンションデータ(顧客名簿・開催意向等)の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行なえるよう管理、更新を図っている。

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

JCCB、全国コンベンション運営事業者協議会(CPA)、日本PCO協会の総会等及びJCCB主催のコンベンションビューロー部会、研修会等に参加し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。

また、JNTO等のコンベンション推進団体による各種統計・アンケート調査等に対して随時協力した。

(5) 経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

22年度における年間開催件数及び年間経済波及効果を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、個別調査とともに報告書を作成し関係機関等に提出した。

個別コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実態を計数的に把握するため、23年度に開催された個別のコンベンション（7件）における経済波及効果を調査した。

iii 広報宣伝事業

(1) 広報宣伝活動

観光情報誌「S a i's（さいず）×さいたま市 Walker の発行（年4回）

来訪者等へ向けた観光情報の広報宣伝を行った。（夏号＝6月、秋号＝9月、冬号＝12月、春号＝3月：各15,000部発行）

各種観光マップ・ポスターの作成・頒布の実施

観光マップ「ポケナビさいたま」の発行（100,000部）

新聞・タウン誌、その他メディアへの広報・宣伝の実施

媒体種別	掲載件数（ ）内は前年	プレスリリース回数
新聞	49（21）	28回 （19回）
タウン誌（紙）	69（82）	
専門誌	13（9）	
雑誌	41（52）	
行政関連出版物	13（19）	
会報等	7（9）	
テレビ	5（5）	
ラジオ	1（3）	
WEB	60（39）	
その他	49（18）	
合計	307（257）	

海外メディア招聘事業の実施

関東の各自治体及びJR東日本と共同で韓国、香港、台湾の新聞、週刊誌などの海外メディア関係者を招聘し、観光施設を案内した。（視察先：鉄道博物館、武蔵一宮氷川神社、大宮盆栽村、大宮盆栽美術館）

スマートフォンアプリ開発への協力

地域振興 iPhone アプリ「つい、盆栽。」企画開発の協力。世界70ヵ国を超える国と地域で70,000ダウンロードを超えるなど好評を博した。

ご当地グルメや、ご当地キャラクターなどの PR

浦和のうなぎや豆腐ラーメン、スタミナラーメンなどのご当地グルメ情報をホームページなどで積極的に PR、また、さいたま市 PR キャラクター「つなが竜ヌウ」や「浦和うなこちゃん」もパンフレットなどに使用するなど PR を行った。特に辰年に合わせ、2012 年ヌウ年！Happy Nu Year！キャンペーンを実施、年賀状の発行などに協力、好評を博した。

(2) インターネットによるシティセールス

インターネットによる国内外への誘致 PR

- ・ホームページ「web S@i's (うえぶさいず)」の運営（日本語・英語・韓国語・繁体字・簡体字）
 - ・「ブログ」「もぎたてさいたま情報」の運営
 - ・ツイッター、Facebook「@SaitamaTIB」の運営
- アクセス数（訪問者数）、ページ閲覧数は以下のとおりであった。

月	訪問者数（件）	ページ閲覧数（ページ）
平成23年4月	93,519	299,421
5月	112,387	380,927
6月	94,954	326,766
7月	211,638	687,601
8月	164,786	550,327
9月	62,397	236,168
10月	71,145	252,831
11月	65,959	220,199
12月	80,312	273,694
平成24年1月	76,646	254,520
2月	64,798	244,626
3月	57,809	189,460
合計 (昨年度)	1,156,350 (1,031,991)	3,916,540 (3,489,798)
前年比	112.05%	112.23%
1ヶ月平均	96,363	326,378
1日平均	3,168	10,730

- ・日産自動車用カーナビシステム「カーウィングス」への観光情報の提供

(3) 大宮盆栽の普及啓発事業

中小企業庁 JAPAN ブランド化育成支援事業に「大宮盆栽」が採択され、海外展開戦略策定を行った。大宮盆栽の輸出促進を展開するための現状分析を行うとともに、ドイツで開催された European Bonsai Convention や高松でのアジア大会などへ参加、マーケティング調査や基本コンセプトを策定した。

iv スポーツコミッション事業

(1) スポーツイベント誘致支援等事業

スポーツイベント主催者への大会等誘致活動

さいたま市内のスポーツ施設を勘案し、開催の可能性が高い団体に対して誘致セールスを行うとともに、日本唯一の総合コンベンションイベント「第21回 国際ミーティング・エキスポ (IME2011)」に出展した。

スポーツイベント主催者への大会等運営支援

施設調整、広報、助成金等による支援を行うとともに、スポーツイベント会場において、推奨土産品販売所の設置や観光情報誌の提供等も行った。

インターネット及び各種広報媒体による PR 活動

スポーツイベント主催者の利便性を高めるため、新たにホームページを構築するとともに、誘致・支援しているスポーツイベントの情報発信を行い、開催機運醸成と集客プロモーションを行った。

スポーツイベント関連シンポジウム等の開催

- ・さいたまスポーツコミッション設立記念シンポジウム

国内初の本格的スポーツコミッション設立にともない、10月3日(月)(会場：パレスホテル大宮)に「スポーツの力」をテーマにシンポジウムを開催した。(来場者：320人)

- ・日本スポーツマネジメント学会 (JASM) 第14回セミナー

さいたまスポーツコミッションのPRをかね、平成24年1月14日(土)(会場：埼玉トヨペット(株) 与野支店 大会議室)に「スポーツと地域活性化の新しい潮流」をテーマにセミナーを開催した。(来場者：250人)

- ・bjリーグ 2011-2012 シーズン オールスターゲーム in 埼玉 プレイイベント

平成24年1月14日(土)(会場：浦和駅東駅前市民広場)にオールスターゲームの開催機運醸成のためのステージイベントと各種販売ブース等を設けた「きてね! キャンペーン」を開催した。(来場者：800人)

- ・サッカーの街さいたまを満喫! さいたま市サッカー尽くしツアー

観光庁の「国内スポーツ観光顧客満足度調査業務」モニターツアー事業の内定受け、平成24年3月17日(土)から18日(日)にかけて、「浦和レッズ」のホームゲーム観戦、グッズショップやスタジアム見学などレッズゆかりの場所を訪れるとともに、さいたま観光大使「球舞」からリフティング技術を学べるフリースタイルフットボール体験を加えた1泊2日のサッカー三昧ツアーを開催した。(参加者：21人)

スポーツイベントによる経済波及効果調査

スポーツイベント開催助成金を支出したスポーツイベントを中心に個別のアンケートを行った。

スポーツ関連情報収集活動

- ・スポーツ関連セミナー等への参加

スポーツマネジメント研究を行う「日本スポーツマネジメント学会」をはじめと

する各種セミナー等に参加し、業界関係者との情報交換を行った。

・コンサルティングレポートの管理及び更新

誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行えるよう管理、更新を行った。

(2) スポーツイベント開催助成事業

さいたま市内における更なるスポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金制度を立ち上げ、2件（総額125万円）を助成した。

v 国際交流事業

(1) 国際推進事業

多言語生活相談

需要の多い3言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語）による生活相談や各種問い合わせに各言語のネイティブスピーカー（CIR）が対応し、在住外国人の生活相談等を行った。また、CIRにより協会の各種情報の翻訳も行い、情報の多言語化にも努めた。【相談件数：英語2件、中国語1件、韓国・朝鮮語1件】

ボランティア派遣事業

市等の公的機関からの要請による、協会登録の通訳ボランティアの派遣、ホームステイ受入れ家庭の紹介及び在住外国人と地域市民との国際交流と多文化共生社会の推進を図るため、イベントボランティアを募り、各種イベント等の開催・運営の協力を得た。

【23年度実績】

ボランティア区分	登録者数	依頼数
通訳・翻訳ボランティア	318人 (14言語 延べ371人)	通訳0人 翻訳1人
ホストファミリー	177家庭	0家庭
イベントボランティア	登録者実数357人	0人

日本語支援事業（にほんごのへや）

在住外国人のための日本語教室を開設し、生活に必要な日本語のコミュニケーション支援を行うほか、行政情報や生活情報を提供した。特に、乳幼児がいる在住外国人のための保育付コースや外国人児童・生徒への支援など特色ある日本語支援を行った。

【23年度実績】

コース名	時 間	内 容	開催回数
浦和コース：さいたま市国際交流センター			
① 午前保育付コース	金曜日 10時～12時	生活日本語の学習支援 子育て中の保護者への学習支援 (保育付)	計4回
② 子どもコース	金曜日 18時～20時	外国人児童・生徒への学習支援 (日本語・教科)	計4回
③ 夜一般コース	金曜日 18時～20時	生活日本語の学習支援	計4回
大宮コース：大宮区役所 会議室			
④ 午前保育付コース	金曜日 10時～12時	生活日本語の学習支援 子育て中の保護者への学習支援 (保育付)	計4回

人数：403人（学習者155人、要保育児25人、スタッフ等223人）

○教室別内訳

《浦和コース》317人（学習者119人、要保育児25人、スタッフ等173人）

午前保育付コース 204人（学習者75人、要保育児25人、スタッフ等104人）

子どもコース 28人（学習者20人、スタッフ等8人）

一般コース 85人（学習者24人、スタッフ等61人）

《大宮コース》86人（学習者36人、要保育児0人、スタッフ等50人）

(2) 国際交流事業

語学講座開催事業

他言語を学ぶとともに、姉妹友好都市への理解を深めるために、4言語による講座を実施した。

【23年度実績】

講座名	日程（全10回）	受講者
初級ロシア語講座	H24.1.10（火）～3.13（火）	9人
初級フランス語講座	H24.1.10（火）～3.13（火）	20人
初級英語講座	H24.1.12（木）～3.15（木）	12人
初級韓国語講座	H24.1.12（木）～3.15（木）	13人

サロン企画事業

国際交流サロンスペース（ぷらっとサロン）を利用し、在住外国人に対する簡易生活相談や各種情報提供と国際理解やボランティア活動、多文化交流を促進するため、月ごとにテーマを設け、サロンでの企画展示や文化紹介等のミニ講座等を実施。

【23年度実績】

3月サロン月間テーマ：ドイツ ドイツの文化と生活

サロンイベント：ミニ講座（テーマ：ドイツ 参加者66名）

おしゃべりサロン：中国語（３回）、スペイン語（２回）、英語（２回）、韓国語（２回）、日本語（１回）参加者合計１３１名

ぶらっとあそぼうドットg

市内在住外国人への子育て支援として、毎月第二土曜日に実施。親子で参加するイベントや、子育てに関する様々なテーマで情報交換を行った。

【２３年度実績】

３月テーマ：おたのしみ会 みんなでおしゃべり（参加者１１名）

vi 観光案内所運営事業

（１）観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所（ＪＲ大宮駅東西自由通路内）、さいたま新都心観光案内所（ＪＲさいたま新都心駅東西自由通路内）、浦和観光案内所（ＪＲ浦和駅西口前）の運営

- ・観光案内業務
- ・各種パンフレット配布業務
- ・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

vii 物品販売事業

（１）観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ等売上１，２４３，８００円（前年１，３４２，７００円）

（２）公共施設等における自動販売機の設置による来遊者へのサービス事業の推進

年間売上２，９３０，２９９円（前年３，２０３，９１０円）

（３）その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務、チケットぴあ業務販売手数料収入４，９４０，７２７円（前年５，５９３，２２６円）

viii その他

（１）情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会への参加による情報交換

政令指定都市の観光協会、コンベンションビューロー等で組織する大都市観光協会連絡協議会へ参加。様々な施策や課題などについて情報交換を行った。

（２）会員サービス事業

会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新春賀詞交歓会を平成２４年１月１７日（火）にパレスホテル大宮で開催。来賓１４名、会員１０３名の参加があった。

功労者・優良従業員表彰制度の実施

観光コンベンション事業に功績のあった功労者６名、事業従事者４名、特別功労者１名を平成２３年６月２２日（水）開催の通常総会にて表彰した。

会員ステッカーの配布

会員証（ステッカー）を新規加入会員に配布、店頭などに掲示を依頼した。

（３）経営基盤強化、効率的な組織運営に関する検討

公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革に関連し、各種セミナーなどに参加。情報収集を行った。